

暮らし支え、経済を立て直す 憲法を生かし平和な日本へ

統一地方選挙の年

日本共産党

「戦争国家づくり」の暴走許さず

「大軍拡・大増税」の岸田政権退陣を

2023年、新春を迎えました。

ことし4月には、神奈川県知事選をはじめ、県議会議員、横浜、川崎、相模原の三政令市の市議会議員選挙、一般の10市4町の議員選挙などがおこなわれます。

岸田政権による違憲の集団的自衛権行使、「敵基地攻撃能力」保有と5年間で総額43兆円をつぎ込む大軍拡・大増税はとんでもありません。東京電力福島第一原発事故の反省も教訓も投げ捨てる原発新規建設の推進、60年超の運転方針への国民の怒りが大きく広がっています。

日本共産党は、「戦争国家づくり」「原発回帰」に突き進む岸田政権の退陣を迫り、「国民の声、民主主義、憲法が生きる新しい政治をつくる共同をすすめよう」と呼びかけています。

地方選挙では、日本共産党の議席を伸ばし、神奈川県から暮らしと憲法破壊の暴走を止めるために、岸田自公政権に「ノー」の審判を下しましょう。

新しい政治つくる共同を

志位 和夫
党委員長
衆議院議員

田村 智子
党副委員長
参議院議員

はたの君枝
前衆議院議員

あさか由香
党県副委員長



新春

2023年1月



みなさんと力をあわせ、実現をめざす「私たちの提案」

命と暮らしを
大切に政治

「雇用は正社員」の実現。最低賃金時給1500円へ中小企業の直接支援の強化。インボイス制度の中止。消費税5%への減税。新型コロナウイルスから命を守る医療体制の拡充。医療・介護・保育など「ケア」を支援。マイナンバーカード取得強制と健康保険証廃止の撤回。

気候危機打開で
地球の未来を守る

石炭火力発電所をやめ、CO2を30年までに50%〜60%削減。再生エネルギーへの転換をすすめ、原発ゼロの日本をめざす。

ジェンダー平等の日本へ

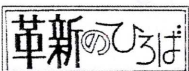
選択的夫婦別姓制度の導入実現、あらゆる性暴力の根絶、男女の賃金格差の是正。

憲法9条を生かし、戦争の心配のないアジアへ

紛争を戦争にしない、あらゆる問題を平和的な話し合いで解決していく平和の外交を提案。核兵器禁止条約への署名・批准を。

2023年1月号外 日本共産党の見解を紹介します。

JCP神奈川 検索



発行 日本共産党神奈川県委員会
住所 横浜市神奈川区西神奈川1-18-12
電話 045(432)2101 FAX 045(432)2103

「しんぶん赤旗」をお読みください。●毎日の日刊紙は月3497円。
●毎週1回の日曜版は月930円。●電子版も発行しています。

「しんぶん赤旗」の発行をまもるために

あなたの力が必要です

「しんぶん赤旗」読者のみなさん。いつもご愛読ありがとうございます。

戦争か、平和か——いま、日本は大きな岐路に立っています。

岸田内閣は、「敵基地攻撃能力」の保有や、5年間で軍事費に43兆円もつぎこむ大軍拡・大增税を行い、「専守防衛」を投げ捨てる「戦争国家づくり」をすすめています。この動きに最も本質を突く批判を行うとともに、アジアの平和の流れや草の根で声をあげる人々の運動を報じ、平和と暮らしをまもりぬく国民の共同の新聞——「しんぶん赤旗」の存在意義はいよいよ大きいと決意を新たにしています。

しかし、この間の読者数の後退によって「しんぶん赤旗」は発行の危機に直面しているうえ、物価高による新聞用紙代のかつてない急騰によって、このたび日刊紙を毎日2ページずつ、日曜版を毎週4ページずつ少なくして発行せざるをえなくなりました。ページが減ったもとでも「赤旗」の魅力がさらに輝く紙面づくりに全力をあげてまいります。このままでは、ページをもとに戻すどころか、近いうちに本当に発行が困難に陥ることになります。

そこで、みなさんに心からのお願いです。「しんぶん赤旗」の発行をまもるために、どうか力をお貸しください。

こんなご協力が力になります

- ご友人・ご家族に購読をおすすめする
- 「しんぶん赤旗」の配達に参加する
- 「しんぶん赤旗」の良さを SNS で紹介する
- 日本共産党に募金をする

お問い合わせ：日本共産党湘南地区委員会 ☎0466-25-4776